

A faint, light gray world map is visible in the background, centered on the Pacific Ocean. The map shows the outlines of continents and major islands.

# *zLog* 令和Edition

## V2.9.3.0

# RELEASE NOTE

2025/01/12  
JR8PPG

# フィードバック時のお願い（ML参加者向け）

- 不具合は再現手順を具体的に連絡して下さい。
- 改善要望は具体的に「こう言う文言ならわかりやすい」とか「ここがこう言う操作なら使い勝手が良い」と案を出してもらえると助かります。
- フィードバックはzlog-reiwa@cq-test.netへ

zLog令和Edition 2.9.3.x

バージョン 2.9.2.8からの修正内容です。

※前回から変更のあったページは**UPDATE**の表記があります

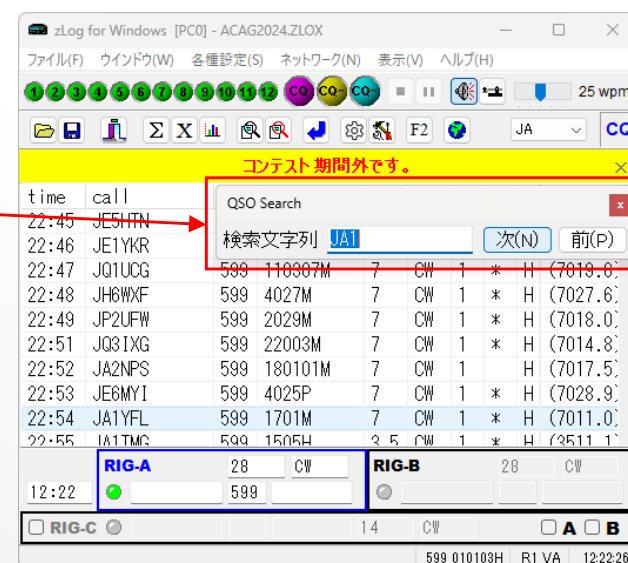
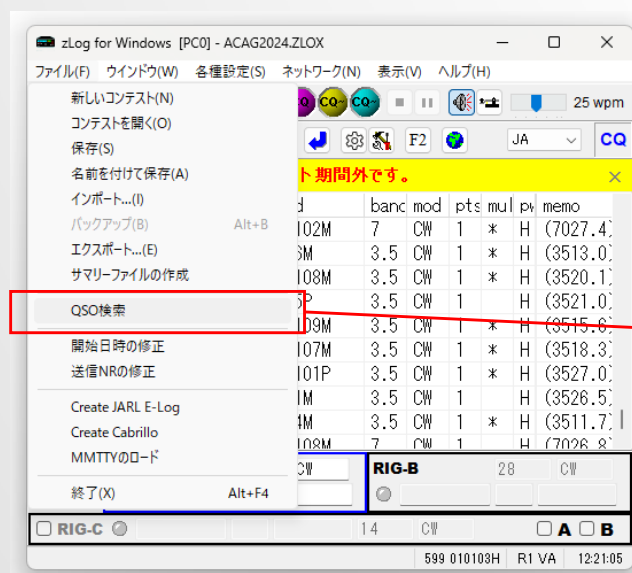
# バージョン2.9.3.Xでの主な変更点

- Enterキーモードの追加
- OTRSP対応
- バンドスコープの改良
- F2A対応機能の改良（サウンドデバイスをリグ毎に設定）
- 不具合修正

Improvement

## #519 検索機能の追加

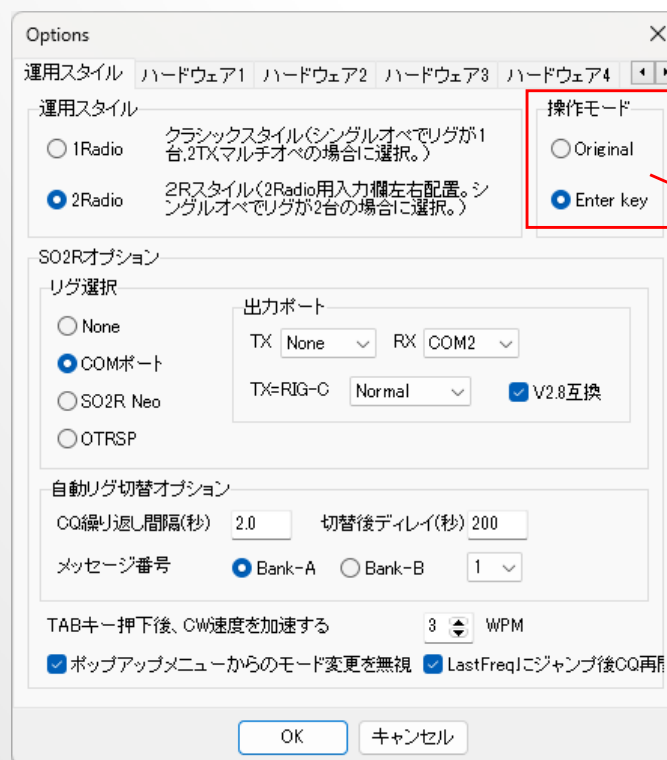
- 交信リストをコールサイン, 受信NR, memo欄を検索し、マッチしたQSOをハイライトします。
- 「次」ボタンで次々と検索します。



## #608

### Enterキーモードの追加（１）

- Enterキーで操作を行う、いわゆるESMモードです。
- Enterキーモードでも従来操作は可能です。



ここで変更

## #608

### Enterキーモードの追加（２）

- フォーカス位置と入力の有無によってEnterキー押下時の動作が異なります。

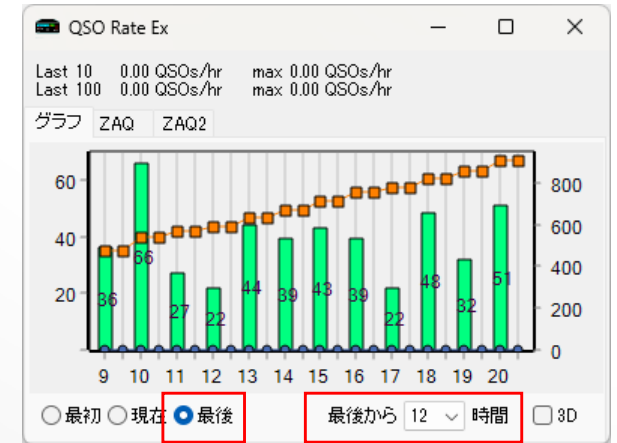
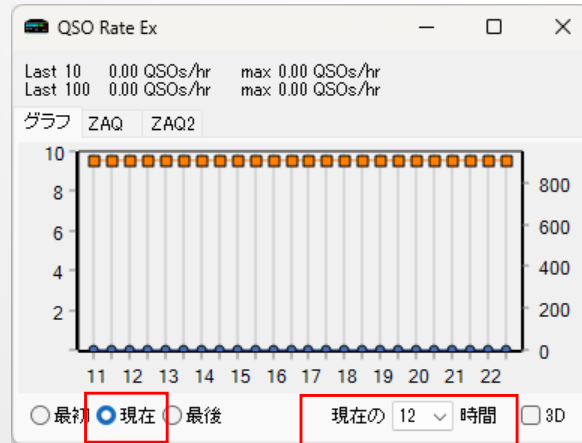
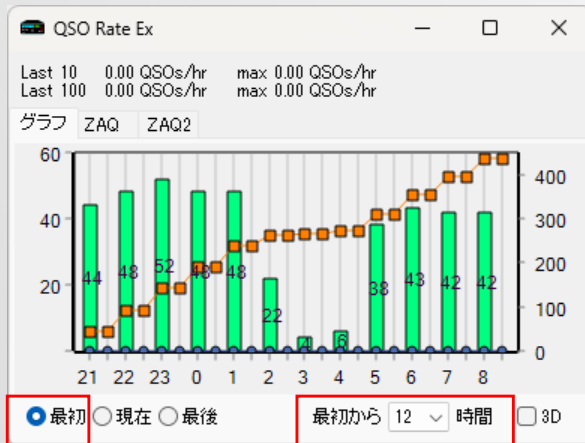
CQ/S&P	フォーカス位置	入力有無	Enterキー押下時の動作	備考
CQ	コールサイン	なし	F1(CQ)送信	
		あり	F2(\$C 5NN\$X)送信後、NR入力へ	TABキーと同じ
	ナンバー	なし	F5(NR?)送信	
		あり	F3(TU \$M TEST)送信とロギング	↓キーと同じ
S&P	コールサイン	なし	F7(MY CALL)送信	
		あり	F7(MY CALL)送信	DUPE時は何もしない
	ナンバー	なし	F5(NR?)送信	
		あり	F8(5NN\$X)送信とロギング	

# BUG FIX

## #631

### QSO Rateグラフの「最後からnn時間」表記の改善

- グラフの表示が「最初」「現在」「最後」のいずれでも「最後からnn時間」ではおかしいので修正しました。





#634

## 1Radio時での使用可能リグ台数の拡大

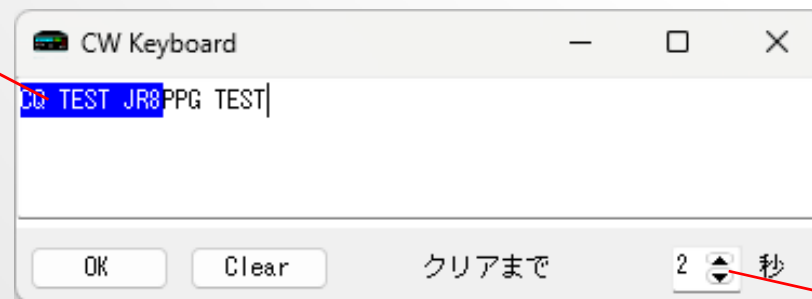
- 1Radio時でも4台のリグを設定可能としました。
- SHIFT+X押下時はRIG-1～RIG-4を順次切り替えます。
- アンテナ端子の切り替え機能はRIG-1/RIG-2のみ作動します。

## #648

### CW Keyboardでも送信の進捗をしりたい

- 送信に合わせて背景に色が付くようにしました。
- サイドトーンが聞こえないリモート運用等で有効とのことです。
- 全部送信した後は、画面で設定の時間経過後クリアされます。

送信に合わせて色が付く



この時間経過後画面クリア

## #656 OTRSP対応（１）

- 標準とされるSO2Rの切替BOX仕様に対応しました。  
Open Two Radio Switching Protocol (OTRSP)  
<https://www.k1xm.org/OTRSP/>  
[https://www.k1xm.org/OTRSP/OTRSP\\_Protocol.pdf](https://www.k1xm.org/OTRSP/OTRSP_Protocol.pdf)
- 実装コマンドはTX,RX,AUXです。
- 送信RIG切替時は、TX1<CR> または TX2<CR> が送出されます。
- 受信RIG切替時は、RX1<CR> または RX2<CR> が送出されます。
- バンド切替時は設定に従って、AUXコマンドが送出されます。（N1MMと同じ）
  - ・ 書式：ANT<RIGNO><ANTNO><CR>
  - ・ RIGNOは 1 桁、ANTNOは 2 桁、<CR>は0x0D
  - ・ ANT未指定時・・・AUX100<CR> 又は AUX200<CR>
  - ・ ANT1指定時・・・AUX101<CR> 又は AUX201<CR>
- 通信条件：9600bps,ストップビット1,パリティ無し,フロー制御無し  
(RTS/CTSはOFF固定)

Improvement

## #656 OTRSP対応 (2)

Options

運用スタイル   ハードウェア1   ハードウェア2   ハードウェア3   リグ制御   ネット

運用スタイル

☐ 1Radio   クラシックスタイル(シングルオペでリグが1台、2TX、マルチオペ(リグが1台)の場合に選択して下さい。)

☒ 2Radio   2Rスタイル(2Radio用入力欄左右配置です。シングルオペでリグが2台の場合に選択します。)

SO2Rオプション

リグ選択

☐ None

☐ COM Port

☒ SO2R Neo

OTRSPオプション

コマンド用ポート COM2

自動リグ切替オプション

OQ繰り返し間隔(秒) 2.0   切替後ディレイ(秒) 200

メッセージ番号 ☒ Bank-A   ☐ Bank-B   1

TABキー押下後、CW速度を加速する   3 WPM

☒ ポップアップメニューからのモード変更を無視   ☒ LastFreqにジャンプ後OQ再開

OK   キャンセル

①2Radioを選択

②OTRSPを選択

③COMポートを選択

④RIG-1/RIG2を設定

⑤CWキーイングは任意のポートから選択 (OTRSPコマンド用ポートと同じでも良い)

Options

運用スタイル   ハードウェア1   ハードウェア2   ハードウェア3   リグ制御   ネット

RIG-1

リグ制御 通信速度 リグ キーイング

COM5 38400 FT-2000 COM2 ☒ XVT

設定 ☐ PH時、KEYをPTTとする 設定

RIG-2

リグ制御 通信速度 リグ キーイング

COM3 38400 TS-570 COM2 ☐ XVT

設定 ☐ PH時、KEYをPTTとする 設定

RIG-3

リグ制御 通信速度 リグ キーイング

None 300 None None ☐ XVT

設定 ☐ PH時、KEYをPTTとする 設定

RIG-4

リグ制御 通信速度 リグ キーイング

None 300 None None ☐ XVT

設定 ☐ PH時、KEYをPTTとする 設定

RIG-5

キーイング

COM2

設定

OK   キャンセル

ポート設定

COM2

RTS PTT

DTR KEY

OK   キャンセル

Improvement

## #656 OTRSP対応（3）

Options

運用スタイル ハードウェア1 ハードウェア2 ハードウェア3 リグ制御 ネット

RIG-Aへのリグ割当			RIG-Bへのリグ割当		
	リグ	アンテナ		リグ	アンテナ
1.9 MHz	RIG-1	ANT1	1.9 MHz	RIG-2	ANT1
3.5 MHz	RIG-1	ANT1	3.5 MHz	RIG-2	ANT1
7 MHz	RIG-1	ANT1	7 MHz	RIG-2	ANT1
10 MHz	RIG-1	ANT1	10 MHz	RIG-2	ANT1
14 MHz	RIG-1	ANT1	14 MHz	RIG-2	ANT1
18 MHz	RIG-1	ANT1	18 MHz	RIG-2	ANT1
21 MHz	RIG-1	ANT2	21 MHz	RIG-2	ANT1
24 MHz	RIG-1	ANT2	24 MHz	RIG-2	ANT1
28 MHz	RIG-1	ANT2	28 MHz	RIG-2	ANT1
50 MHz	RIG-1	ANT3	50 MHz	RIG-2	None
144 MHz	RIG-1	ANT4	144 MHz	RIG-2	None
430 MHz	RIG-1	ANT4	430 MHz	RIG-2	None
1200 MHz	RIG-1	ANT4	1200 MHz	RIG-2	None
2400 MHz	RIG-1	ANT4	2400 MHz	RIG-2	None
5600 MHz	RIG-1	ANT4	5600 MHz	RIG-2	None
10 G & up	RIG-1	ANT4	10 G & up	RIG-2	None

OK キャンセル

⑥AUXコマンドはこのアンテナ設定に従って送出されます。

例)

RIG-AのANT1は、AUX101

RIG-AのANT3は、AUX103

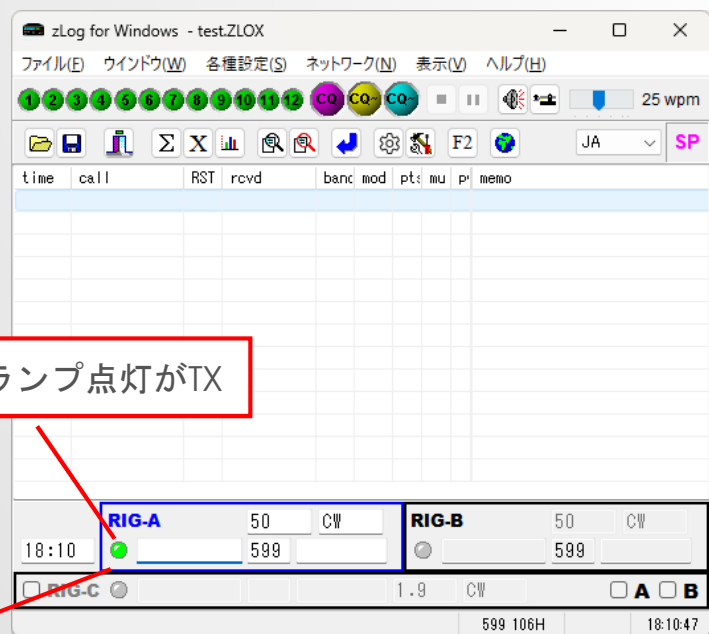
RIG-BのNoneは、AUX200

RIG-BのANT1は、AUX201

Improvement

## #656 OTRSP対応 (4)

TX:RIG-A, RX:RIG-A

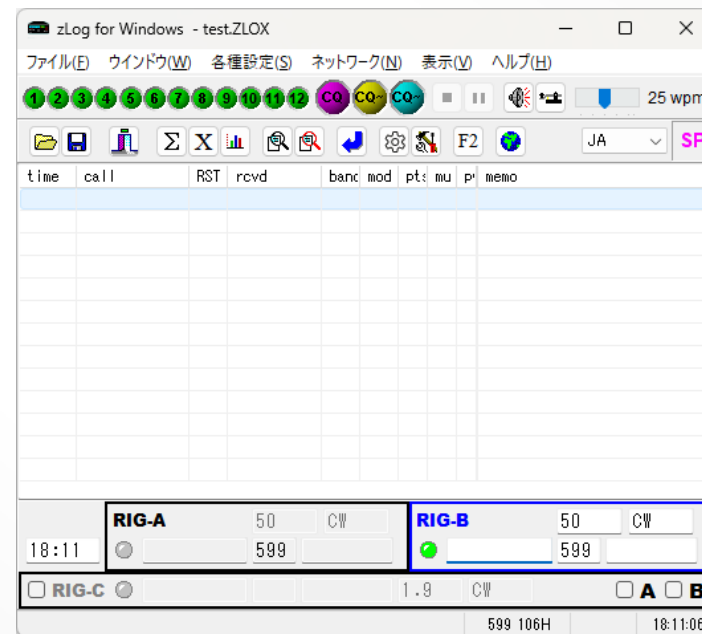


送出コマンド  
RX1<CR>  
AUX100<CR>  
TX1<CR>

TX/RX切替  
SHIFT+X



TX:RIG-B, RX:RIG-B

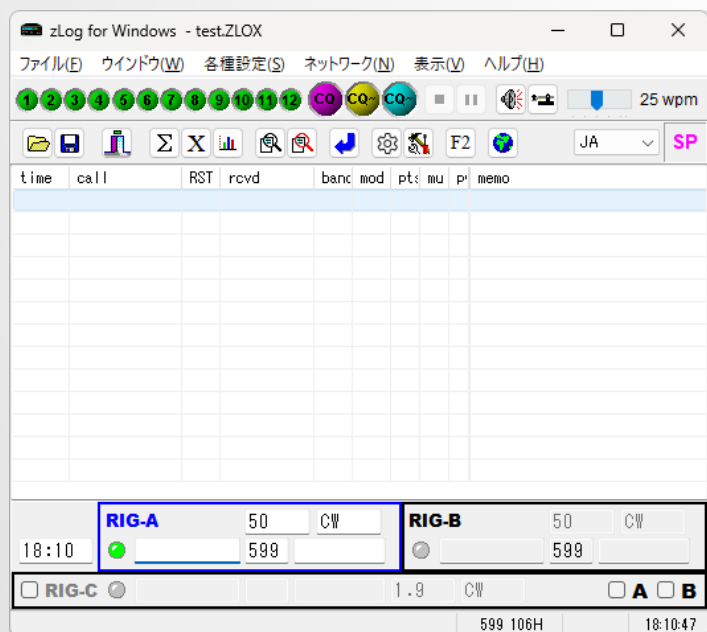


送出コマンド  
RX2<CR>  
AUX200<CR>  
TX2<CR>

Improvement

# #656 OTRSP対応 (5)

TX:RIG-A, RX:RIG-A

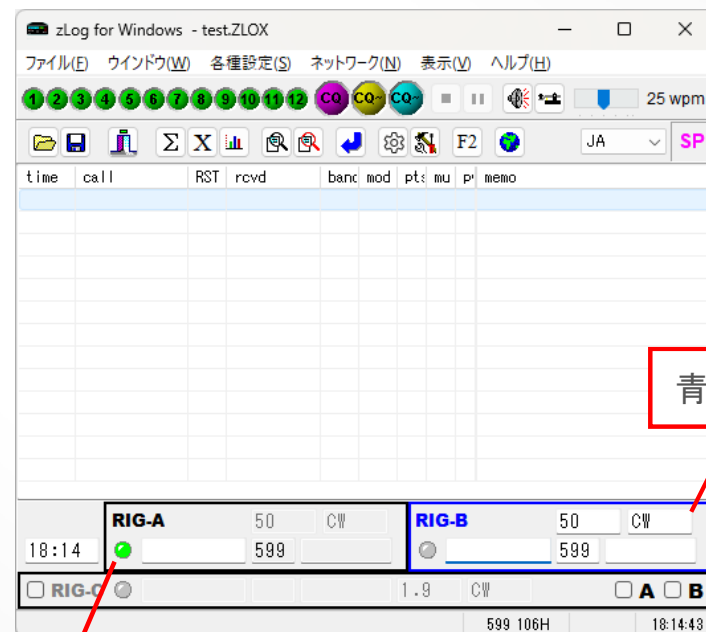


送出コマンド  
RX1<CR>

RX切替  
SHIFT+C



TX:RIG-A, RX:RIG-B



青枠がRX

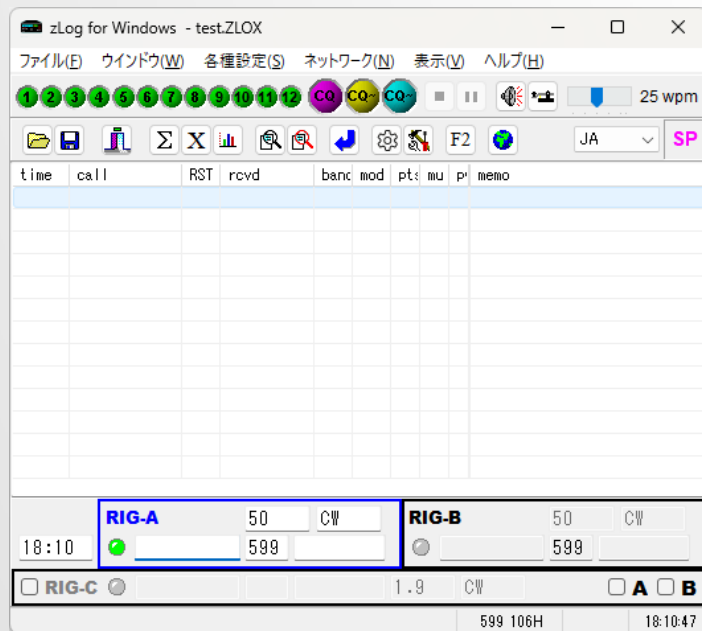
送出コマンド  
RX2<CR>

緑色のランプ点灯がTX

Improvement

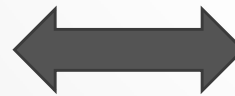
## #656 OTRSP対応 (6)

TX:RIG-A, RX:RIG-A

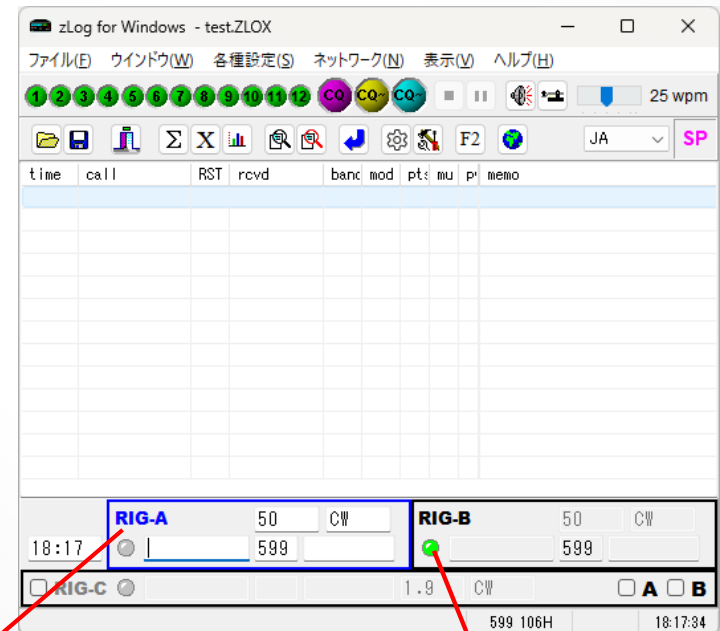


送出コマンド  
TX1<CR>

TX切替  
SHIFT+V



TX:RIG-B, RX:RIG-A



青枠がRX

送出コマンド  
TX2<CR>

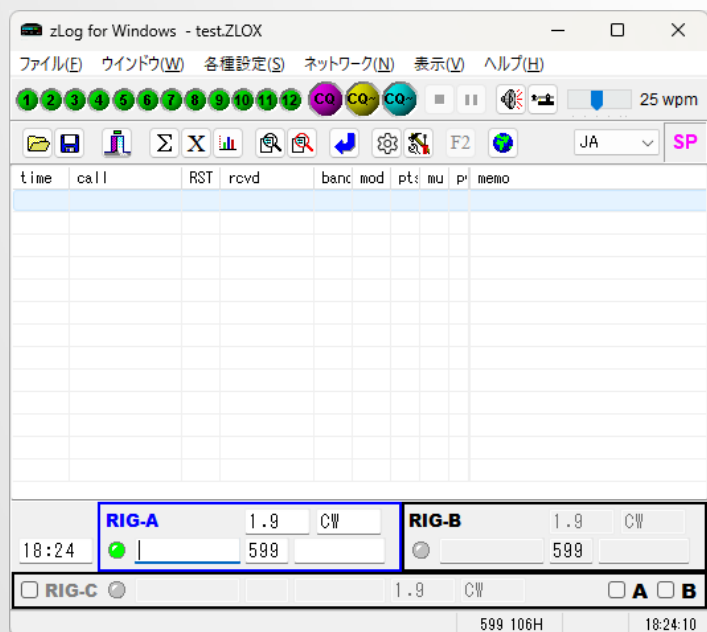
グリーンのランプ点灯がTX



Improvement

## #656 OTRSP対応 (7)

TX:RIG-A, RX:RIG-A

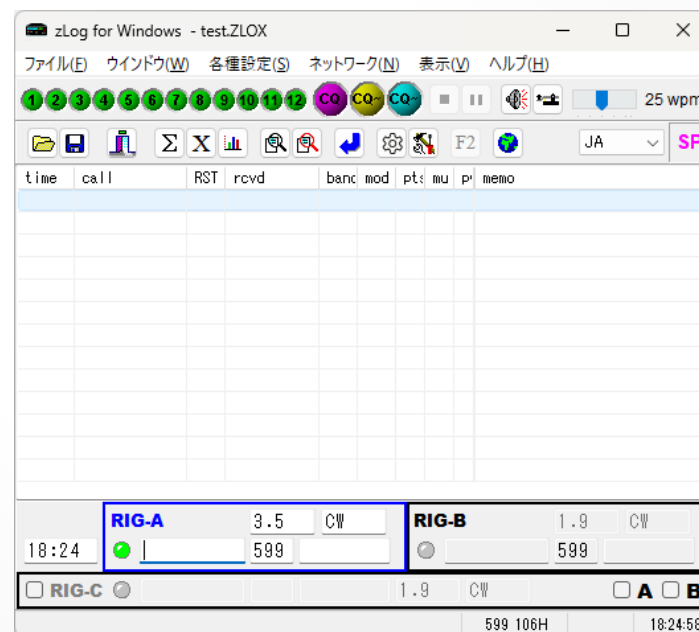


送出コマンド  
RX1<CR>  
AUX101<CR>  
TX1<CR>

バンド切替  
SHIFT+B



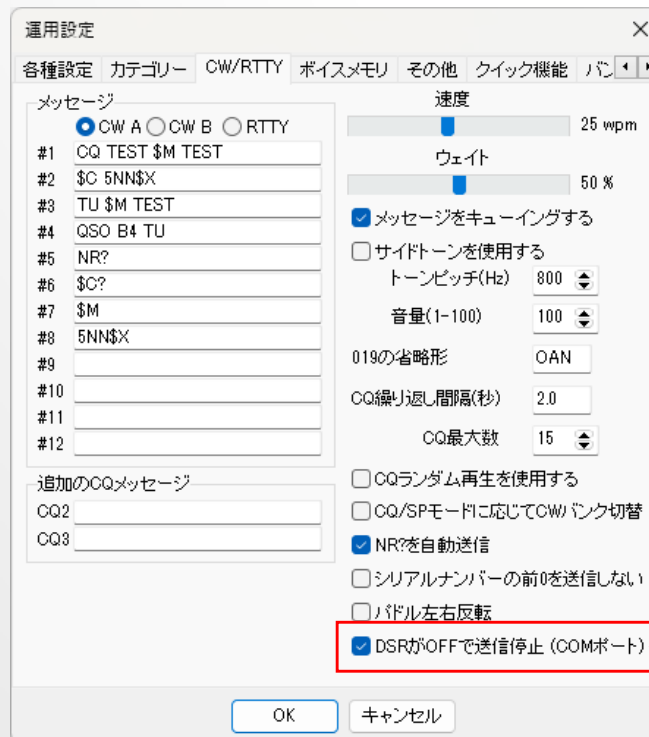
TX:RIG-B, RX:RIG-A



送出コマンド  
RX1<CR>  
AUX102<CR>  
TX1<CR>

## #656 OTRSP対応（8）

- ・ リグ側でバンド切替を行った場合、AUXコマンドを送出します。
- ・ COMポートキーイング時、DSR信号がOFFでキーイングを停止するオプションを追加しました。



## #659

### マルチTXの拡張

- マルチTXのTX番号が0-9で10TXでした。これでは足りないため、0-15の16TXまでに拡張しました。

#678

## シリアル番号の発番管理方法の改善

- シリアルNO方式コンテストについて発番方法の改善。
- 主にPHONE時に、zLogが発番する番号と違う番号を誤って送った場合に番号に食い違いがおきる。
- 現在
  - 番号管理用の変数を使って、管理番号 + 1 を次のQSOのシリアルナンバーとしているが、ZLOファイルロード時(次回起動時)は最終QSOのシリアルナンバー + 1 としている。
- 改善
  - 常に最終QSOのシリアルナンバー + 1 を次のQSOのシリアルナンバーとした。

# Improvement

## #683 #717 バンドスコープの改良（１）

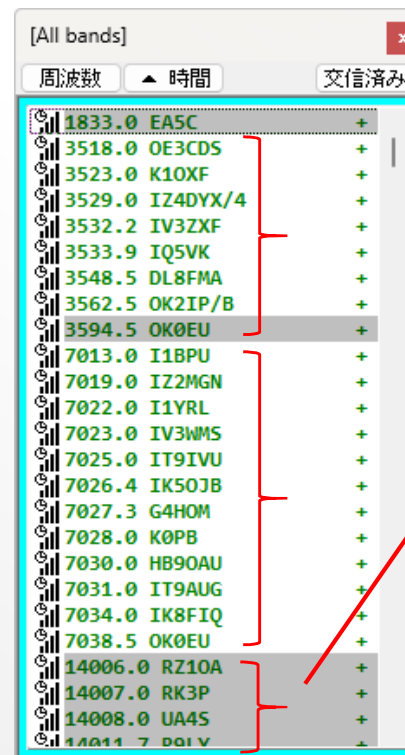
- #683 バンドスコープの[VFO同期][中央固定]がわかりにくいというご指摘。
- #717 All bandsのウィンドウでは全バンドのスポットが出ているので、現在バンドは良いが他のバンドを見るのが大変とのご指摘。

#683



わかりにくい

#717

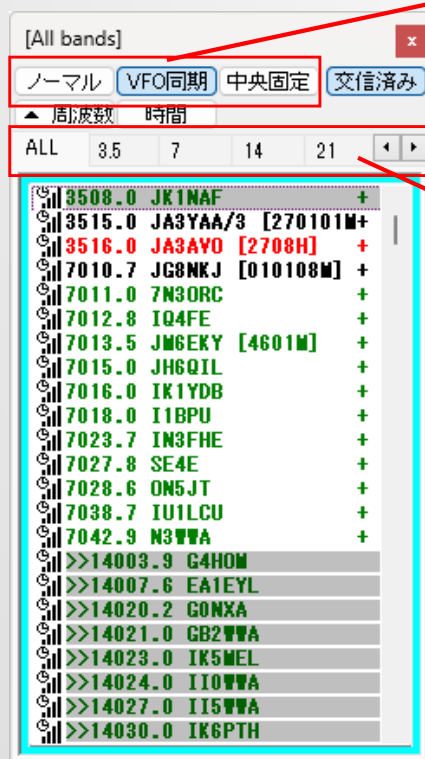


下の方になるバンド(スポット)を見るのが大変

Improvement

## #683 #717 バンドスコープの改良（２）

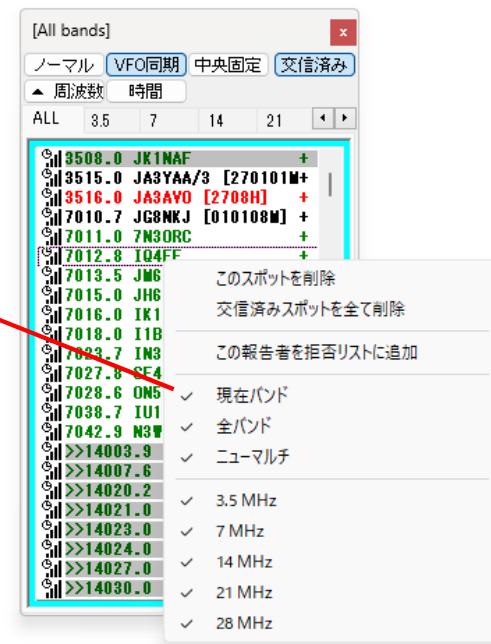
- [ノーマル]・・・VFO非連動
- [VFO同期]・・・VFOに合わせてスクロール
- [中央固定]・・・VFO位置をウインドウの中央に固定して表示



[ノーマル][VFO同期]  
[中央固定]の3択に変更

バンド別のタブを追加

右クリックメニューで各ウ  
ィンドウを個別に表示／非  
表示とできるようにした



# #683 #717 バンドスコープの改良（3）

➤ 従来操作との対比は下記の通りです。

動作	改良後の操作			改良前の操作	
	[ノーマル]	[VFO同期]	[中央固定]	[VFO同期]	[中央固定]
ノーマル表示 VFOの動きには連動しない	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
VFO同期表示 VFOに合わせてスクロール	OFF	ON	OFF	ON	OFF
中央固定表示 VFO位置をウインドウの中央に固定して表示	OFF	OFF	ON	ON	ON

#690

ZLOG TELNETも登録リストから選択できるようにしてほしい

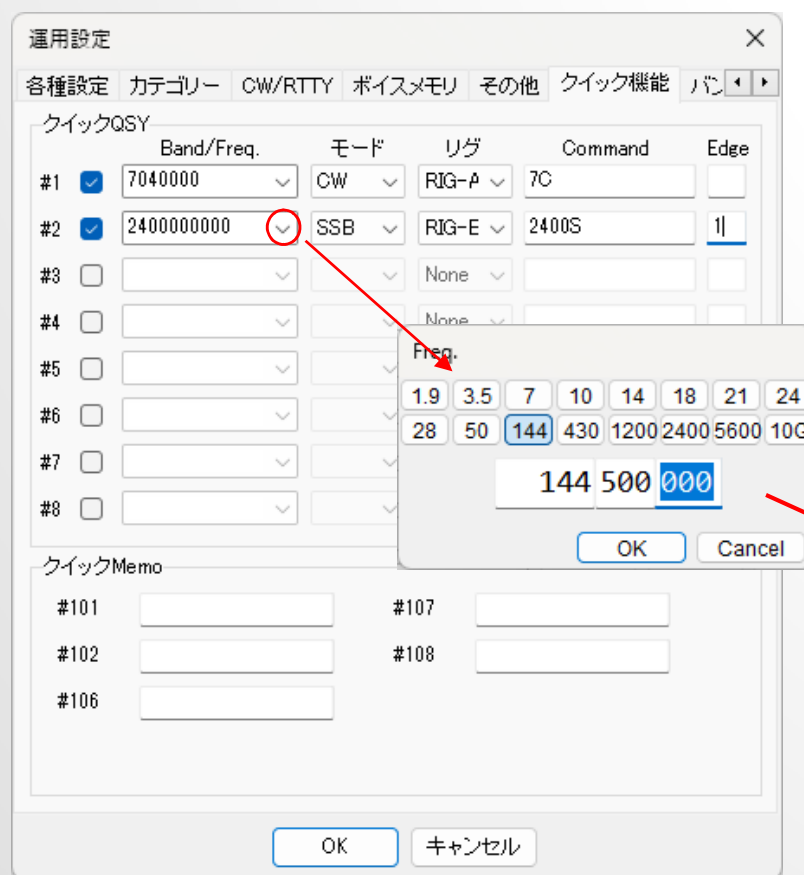
- バンドスコープを除く主要ウインドウについて、個別に文字サイズを変更できるようにしました。



## #699

### クイックQSYとコンソールコマンドQSYの統合

- 類似機能となるクイックQSYと#672でのコンソールコマンドQSYを統合しました。#672の説明を次ページに掲載。



- QSY先の設定を画面で行えるようにした
- 元のクイックQSY機能によりショートカットキーも使用可能
- 周波数入力を簡便にするために補助ウインドウを作ってみた

周波数入力ウインドウ

## #672

## コンソールコマンドでの周波数プリセットへのQSY(2.9.2.2)

- 予めプリセットしておいた周波数・モードへコンソールコマンドでQSYします。
- IC-705/905/9700ではFIXエッジの選択が可能です。(2.9.2.2)

予めコマンドと周波数・バンドを設定したファイル  
zlog\_freqmem.txt

```
コマンド, 周波数, モード, FIXエッジ  
50S, 50350000, SSB  
50C, 50050000, CW  
144S, 144250000, SSB  
144C, 144050000, CW  
430S, 432500000, SSB, 1  
430C, 430050000, CW, 2
```

コールサイン欄に、”,50C”と入力すると 50.050kHz CWへQSYします。

IC-705/905/9700の場合は、予め登録してあるスペクトラムスコープのFIXエッジ(上限／下限周波数)を選択できます。FIXエッジは各機種とも各バンド4パターン登録できます。上記ファイルの4項目目に番号を記述することで、QSY時にFIXエッジ選択コマンドをリグに送出します。(項目無し又は0の場合は送出しません)  
これはモードによって占有周波数が異なるためスペクトラムスコープの表示幅を変更したいという要望に対応するものです。

## #700

### スペースキー押下時の動作改善

#### ➤ 現状

- ① コールサイン入力
- ② スペースキー押下（又はタブキー）
- ③ 過去QSO（他バンドのQSO）があればNRを転記
- ④ コール欄に戻り訂正
- ⑤ スペースキー押下（又はタブキー）
- ⑥ すでにNR欄には何か入力済みなので、過去QSO（他バンドのQSO）からのNR転記をしない

#### ➤ 改善

- 上記の⑥で、訂正したコールサインに過去QSO（他バンドのQSO）があればNRを転記するようにした

## #703

### ハムサポとのデータ連携（1）

- iPhoneアプリの「HAM交信サポート」との相互のデータ交換を可能としました。

<https://apps.apple.com/jp/app/ham%E4%BA%A4%E4%BF%A1%E3%82%B5%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88/id6645736263>



#### HAM交信サポート [4+]

ログ取り、無線局検索、QSL管理全て、ハムってサポート！

Yuri HARUNA

iPhone対応

★★★★ 5.0・4件の評価

無料・アプリ内課金があります

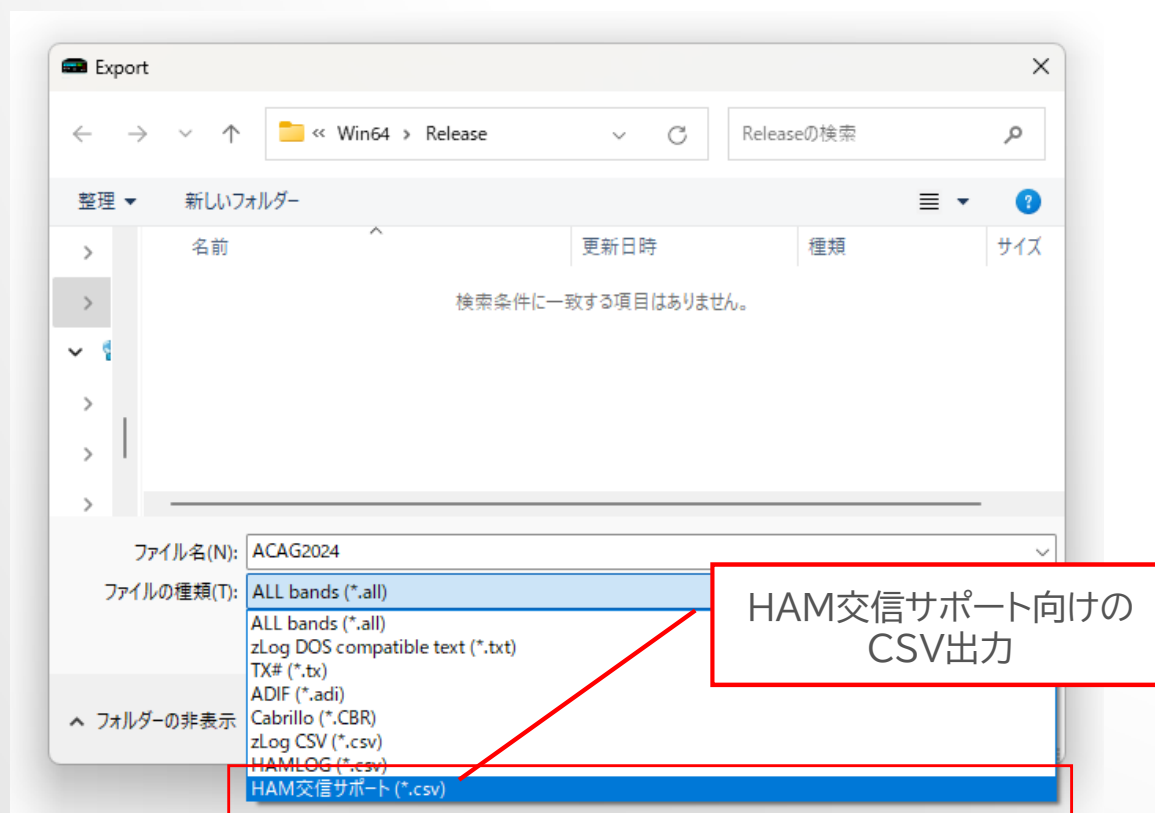
#### iPhoneスクリーンショット



## #703

## ハムサポとのデータ連携（２）

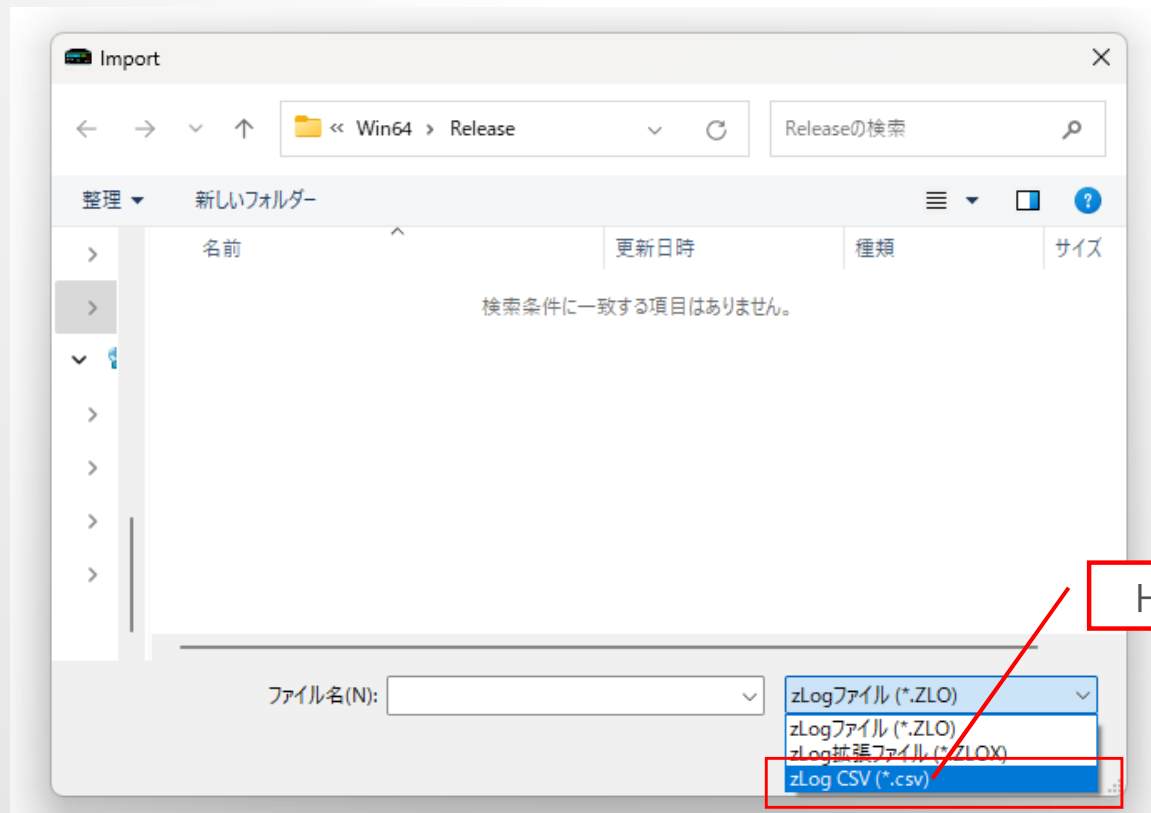
- zLogからHAM交信サポートへ交信データを移行するには、「エクスポート」メニューより「HAM交信サポート(\*.csv)」を選択して下さい。



# #703

## ハムサポとのデータ連携（３）

- HAM交信サポートからzLogへ交信データを移行するには、「インポート」メニューより「zLog CSV (\*.csv)」を選択して下さい。



## HAM交信サポートからのCSV

Improvement

#709

## Packet Cluster接続：接続先毎にコマンドを登録

➤ 接続先毎にコマンドを予め設定できるようにしました。

設定する場合

TELNET settings

設定名: ccc

ホスト名: ccc.jglvgx.net:7373

ログインID: Port#: 23

改行コード: CR + LF ☐ ローカルエコー

Commands: SET/FILTER DXCTY/PASS JA  
SET/FILTER DXCTY/OFF

OK キャンセル

PacketClusterサーバー毎のコマンドを入力しておく(1行1コマンド)

コマンドを使う場合

Cluster

ccc dxc arc

接続先:  
ccc.jglvgx.net:7373  
ログインID: <Your callsign>

SET/FILTER DXCTY/PASS JA  
SET/FILTER DXCTY/OFF

自動ログイン  
自動再接続  
☐ スポットを他のバンドへリレー  
☐ 受信ログを保 ☒ BELを無視  
☐ 許可/拒否リストを使用  
☐ 強制再接続

Connect

コンボボックスで選択したコマンドが送信される

## BUG FIX

#725

CTRL+Nでバンドスコープに登録時、NEWマルチチェックが正しくない

➤ 現象

ARRL 10mの場合、CTRL+Nでバンドスコープに登録時、交信済みマルチなのにNEWマルチとして赤く表示される。

➤ 原因

ARRL 10mでの北米局のNRはSTATEなのでコールサインからNEW MULTIチェックができない。

そのため、その局がWORKEDかどうかのチェックしかできない。

しかもSPOT情報に正しいモード情報が無いので、常にCWとしてチェックされる。SSBでは正しくWORKEDチェックが行えない。

➤ 対応

ARRL 10mの場合、バンドスコープでNEW MULTIチェックは行わない。またモード無視でのWORKEDチェックとする。



## #726

### 最後のシリアルNOを送りたい

- シリアルNOコンテストで、ロギング後にAGN?等を送られた場合、最後のシリアルNO（ひとつ前のQSO）を再送したい。
- CWの置換マクロとして\$U(\$u)を実装しました。  
例えば、F9等に「5NN\$U TU」と登録しておくことで、F9キー押下で対応が可能となります。

## #728

### SO2R:V2.8のリグ切り替え信号にRX=RIG-A+RIG-Bを追加

- V2.8のリグ切り替え信号利用時、ショートカットキー#137の操作を行うと、DTR:ON/RTS:ONとするオプションを追加する。  
解除はショートカットキー#135と#136と#147の操作とする。
- 使用用途は接続するSO2R切替BOXにて、DTR:ON/RTS:ONとした場合、RIG-AとRIG-Bの両方の受信音をヘッドホンに入力する。

#729

## サウンドデバイスをリグ毎に設定可能とした（１）

- Voice再生/F2A時、現在選択中のリグに合わせてサウンドデバイスを選択できるようにする。
- これにより、USB接続時にオーディオデバイスが用意されるリグを複数台接続した場合に、リグ切替に合わせてVoice/F2A送信を行うことができます。

Improvement

#729

## サウンドデバイスをリグ毎に設定可能とした（２）

➤ ハードウェア設定の「ハードウェア3」「ハードウェア4」タブで設定します。

「ハードウェア4」タブを追加

運用スタイル ハードウェア1 ハードウェア2 ハードウェア3 **ハードウェア4**

RIG-1  
出力デバイス **スピーカー (Realtek(R) Audio)** 音量 100  
☐ F2Aモードを使う ☐ データモードを使う D1 フィルター FIL1  
☐ F2AでPTTを使う 送信前ディレイ(ms) 500 送信後ディレイ(ms) 500

RIG-2  
出力デバイス **スピーカー (Realtek(R) Audio)** 音量 100  
☐ F2Aモードを使う ☐ データモードを使う D1 フィルター FIL1  
☐ F2AでPTTを使う 送信前ディレイ(ms) 500 送信後ディレイ(ms) 500

RIG-3  
出力デバイス **スピーカー (Realtek(R) Audio)** 音量 100  
☐ F2Aモードを使う ☐ データモードを使う D1 フィルター FIL1  
☐ F2AでPTTを使う 送信前ディレイ(ms) 500 送信後ディレイ(ms) 500

RIG-4  
出力デバイス **スピーカー (Realtek(R) Audio)** 音量 100  
☐ F2Aモードを使う ☐ データモードを使う D1 フィルター FIL1  
☐ F2AでPTTを使う 送信前ディレイ(ms) 500 送信後ディレイ(ms) 500

OK キャンセル

Options

運用スタイル ハードウェア1 ハードウェア2 **ハードウェア3** ハードウェア4

ICOM CI-Vオプション  
モード CI-V Transceive On 方法 周波数とモードを取得  
応答タイムアウト(ms) 1000

PTT制御  
☐ CWでPTTを使う 送信前ディレイ(ms) 25 送信後ディレイ(ms) 0  
☐ PHでPTTを使う 送信前ディレイ(ms) 25 送信後ディレイ(ms) 0

USBIF 4CWオプション  
☒ WPM同期 ☐ Gen.3のマイク入力  
☐ ノイズを使用(V1, AMD-USB-KEY)

WinKeyerオプション  
☐ WinKeyerを使う ☐ WK 9600bps ☐ 常に9600bpsで使用  
☒ 出力先選択する ☐ Speed Pot無視

音声再生デバイス  
☒ **リグで再生する** **スピーカー (Realtek(R) Audio)**

ONの場合、リグ毎のデバイスに出力します

Voice再生用デバイスを選択

OK キャンセル

BUG FIX

## その他不具合修正一覧